

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 A 歌唱



「生命が羽ばたくとき」を主要教材にして、混声三部合唱で表現するために必要な基礎的な技能を身に付けます。「曲にふさわしい発声で歌おう」とは、曲想を感じ取りながら歌詞の内容と旋律のまとまりを生かし、音域や強弱に応じた声の出し方、子音・母音の発声などを身に付けて表現することを目指しています。「語りあおう」や「大切なもの」では、こうした学習を生かし、歌唱表現に必要な基礎的な技能をより確かに身に付けることをねらいとしています。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

### 「生命が羽ばたくとき」

- ・ 強弱や音域に応じた声の音色
- ・ 強弱の変化と効果
- ・ 旋律のまとまりと楽曲全体の構成

### 「語りあおう」

- ・ 旋律やリズムのまとまり、反復
- ※ 「生命が羽ばたくとき」の音楽的な見方・考え方も活用

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (1)歌唱				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○	○	

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢などを身に付けている。
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識（パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わり）や技能（音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢など）を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 B創作



本ユニットでは、指定された回数で八分音符をつなげ、八分音符と四分音符によるリズムを3種類つくることを基盤にして学習を展開します。「リズムの反復や変化を生かし」とは、つくったリズムの繰り返しや組み合わせを工夫してリズム・パートをつくることを目指すものです。そして、「オーラ・リー」の雰囲気や曲想を感じ取りながら、リズム・パートとしてまとまりのある創作表現を工夫します。

## ■ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・基本のリズムと八分音符のつなげ方との関係
- ・つなげたリズムの反復，組み合わせ方
- ・つくったリズムパターンと「オーラ・リー」のリズムや旋律との関係

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (3) 創作			
ア	イ		ウ
	(ア)	(イ)	
○		○	○

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	音素材の特徴及び音の重なり方や反復，変化，対照などの構成上の特徴を理解する。[イ-(イ)] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。[ウ]
思考力・判断力・表現力等	創作表現に関わるイ-(イ)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら，まとまりのある創作表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	リズムの反復や組み合わせによるリズムパターンの特徴を理解している。 条件に沿って八分音符をつなげる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	創作表現に関わる知識（リズムの反復や変化などによるリズムパターンの特徴）や技能（条件に沿って八分音符をつなげる技能）を得たり生かしたりしながら，まとまりのある創作表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 C鑑賞



「ボレロ」を主要教材にして、曲想と音楽の構造との関わりを理解して、音楽に対する価値意識を考える学習を展開します。「曲の構成のよさや面白さを味わいながら」とは、リズムや旋律の反復・変化・対照による構成を聴き取り、共通性を考えながらそれぞれの楽曲を鑑賞することを目指します。「ボレロ」の構成の仕方を基盤に、組曲「惑星」から第1曲「火星」あるいはバレエ「春の祭典」との共通性や固有性を考え、より豊かに曲想を感じ取ることをねらいとしています。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

### 「ボレロ」

- ・ 旋律を演奏する楽器の音色や響き
- ・ リズムや二つの主題の反復と楽曲全体の構成
- ・ テクスチャや強弱の変化と効果

### 組曲「惑星」から第1曲「火星」

- ・ リズムの反復や楽曲全体の構成
- ※ 「ボレロ」の音楽的な見方・考え方も活用

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

B鑑賞					
ア			イ		
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
		○	○		

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。[イ-[ア]]
思考力・判断力・表現力等	鑑賞に関わるイ-(ア)の知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。[ア-(ウ)]
学びに向かう力	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識（曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わり）を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 D歌唱



「浜辺の歌」を主要教材にして、歌詞と旋律のまとまりとの関係、旋律のまとまりと二部形式との関係を理解し、曲想を感じ取りながら表現することを目指します。そして、日本語の子音や母音の発音、強弱や音域に応じた発声などの基礎的な技能を身に付けて表現を工夫します。また、「早春賦」では二部形式の共通性を生かして表現を工夫し、「花の街」ではこれらの学習を生かして歌詞と旋律のまとまりとの関係に着目して学習します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

### 「浜辺の歌」

- ・ 強弱や音域に応じた声の音色
- ・ 旋律のまとまりや反復
- ・ 拍子や強弱の設定
- ・ 二部形式による楽曲全体の構成

### 「早春賦」

- ・ 旋律のまとまりや反復
- ※ 「浜辺の歌」の音楽的な見方・考え方も活用

■ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (1)歌唱				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	○		○	

■ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解する。[イ-(ア)] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付ける。[ウ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声，子音や母音の発音などを身に付けている。
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識（曲想と形式や歌詞との関わり）や技能（音域や強弱に応じた発声，子音や母音の発音など）を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は，一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 E 創作



本ユニットでは、平調子に基づいた4小節の短い旋律をつくります。旋律をつくるに当たり、あ～えの四つのリズムパターンと、平調子に基づく五つの音を用いることを条件としています。リズムパターンや五つの音は「さくらさくら」で実際に用いられているもので、楽曲の構成の仕方などを参照することができます。また、「さくらさくら」の曲想と関わらせながら自分の作品を前奏として活用し、表現を工夫することも可能です。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 選んだ音（平調子）の響き
- ・ 選んだ音やリズムによる旋律
- ・ 選択する あ～え のリズム
- ・ つくった旋律による全体の構成

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (3) 創作			
ア	イ		ウ
	(ア)	(イ)	
○	○		○

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴を理解する。[イ-(ア)] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。[ウ]
思考力・判断力・表現力等	創作表現に関わるイ-(ア)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準 (観点ごと)

知識・技能	平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴を理解している。 課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	創作表現に関わる知識（平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴）や技能（課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能）を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 F 鑑賞



「交響曲第5番ハ短調」を主要教材にして、第1楽章の動機が全楽章にわたって反復・変化して現れることや各楽章の形式を理解し、曲想を感じ取りながら音楽に対する価値意識を考える学習を展開します。また「交響曲第5番ハ短調」のソナタ形式などの聴取を生かし、「小フーガ ト短調」では主題と応答の関係やフーガによる構成、「シェエラザード」では各主題の反復・変化や対照となる他の主題を聴き取り、それぞれの曲想を味わいながら鑑賞することを目指します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

手がかりにする〔共通事項〕							
音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成

### 「交響曲第5番」

- ・ 旋律を演奏する楽器の音色や響き
- ・ 動機の反復と変化
- ・ 拍子，速度，強弱の変化と効果
- ・ ソナタ形式などによる楽曲全体の構成

### 「小フーガ」

- ・ パイプオルガンの音色や響き
- ・ フーガによる楽曲全体の構成

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

B鑑賞					
ア			イ		
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
○			○		

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。[イ-(ア)]
思考力・判断力・表現力等	鑑賞に関わるイ-(ア)の知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 [ア-(ア)]
学びに向かう力	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識（曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わり）を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 G 歌唱



「You Can Fly!」を教材にして、英語の発音を身に付けパートの役割を理解し、他の声部を聴取しながら表現を工夫します。そして、「You Can Fly!」の発音、印象的な5度の跳躍、これと関係する曲の山場（クライマックス）に着目しながら、主旋律を担当するパートを確認し歌唱表現する技能を身に付けます。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

### 「You Can Fly!」

- ・ 英語の発音とシンコペーションのリズム
- ・ パートの重なり方や役割
- ・ 5度の跳躍がある旋律とその反復
- ・ 強弱の変化と効果
- ・ 主旋律のパートとの関係

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (1) 歌唱				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○		○		○

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。[イ-(イ)] 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。[ウ-(イ)]
思考力・判断力・表現力等	歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準 (観点ごと)

知識・技能	言葉の発音と音域 (5度の跳躍) に応じた発声との関わりについて理解している。 全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識 (言葉の発音と音域 (5度の跳躍) に応じた発声との関わり) や技能 (全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う) を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 H鑑賞



雅楽「越天楽」では、用いられる楽器の音色や響き、拍の表れ方や速度の設定、各楽器の旋律やリズムの合わせ方などを聴き取り、「管絃」による表現の特徴を理解して鑑賞します。これらを踏まえ雅楽の文化的歴史的背景を理解し、左舞「万歳楽」と右舞「狛杵」を比較鑑賞し、我が国における雅楽の歴史的な背景を理解します。能「羽衣」はこうした学習を生かして、我が国の音楽や芸能の歴史的な関連を理解しながら、能の表現の特徴を聴き深めることを目指します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

### 雅楽「越天楽」

- ・ 各楽器の音色や響き
- ・ 鉦鼓・鞆鼓・釣太鼓のリズムの合わせ方
- ・ 竜笛と篳篥の旋律の合わせ方
- ・ 笙のテクスチャと響き
- ・ 楽曲全体の構成

### 舞楽 左舞「万歳楽」 右舞「狛杵」

- ・ 唐楽と高麗楽の違い

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

B鑑賞					
ア			イ		
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
	○			○	

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。[イ-(イ)]
思考力・判断力・表現力等	鑑賞に関わるイ-(イ)の知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。[ア-(イ)]
学びに向かう力	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識（雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史との関わり）を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 | 歌唱



「そよぐ風の中で」を教材にして、楽曲の構造と関わらせて曲想の変化を感じ取ったり、主旋律を生かした表現を工夫したり、他のパートを聴きながら歌唱表現する技能を身に付けたりします。また、楽曲の終わりでは速度と強弱の設定を生かして表現を工夫します。そして、合唱する際に必要な基礎的な指揮の仕方を身に付け、学級で表現します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

### 「そよぐ風の中で」

- ・ 速度や強弱の変化と効果
- ・ 主旋律のパートとの関係
- ・ パートの重なり方や役割
- ・ 楽曲全体の構成

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

A 表現 (1) 歌唱				
ア	イ		ウ	
	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)
○	○			○

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解する。 [イ-(ア)] 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。[ウ-(イ)]
思考力・判断力・表現力等	歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。[ア]
学びに向かう力	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準 (観点ごと)

知識・技能	曲想と楽曲の構成との関わりについて理解している。 他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識 (曲想と楽曲の構造との関わり) や技能 (他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う) を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。

# 「学びのユニット」指導計画 2・3年上 J 鑑賞



このユニットでは、「鹿踊」（金津流獅子踊）と「獅子舞」（神田神社）に着目して、舞と囃子による表現の特徴を確かめたり聴き取ったりします。また、「龍踊」（長崎くんち）や「虎舞」（八戸三社大祭）と比較し、表現の共通性や固有性から多様性を理解して鑑賞します。そして、地域の音楽や芸能などを取り上げて、表現の共通性や固有性について考えたり、私たちのくらしとともにある音楽や芸能の豊かさを味わったりすることを目指します。

## ■ ユニットで育む音楽的な見方・考え方

手がかりにする〔共通事項〕

音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成
----	-----	----	----	-------	----	----	----

- ・ 声や楽器の音色や響き
- ・ 太鼓や囃子のリズムと唄や唱歌との関わり
- ・ 場面に応じた速度，強弱の変化と効果
- ・ それぞれの音楽や芸能の全体の構成
- ・ それぞれの音楽や芸能の共通性や固有性

■ ユニットの学習指導要領の取扱い

B鑑賞					
ア			イ		
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
		○			○

■ ユニットの目標の設定

知識及び技能	我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。[イ-(ウ)]
思考力・判断力・表現力等	鑑賞に関わるイ-(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。[ア-(ウ)]
学びに向かう力	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。

■ ユニットの評価規準（観点ごと）

知識・技能	郷土の音楽や芸能における表現の特徴とその多様性について理解している。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識（郷土の音楽や芸能における表現の特徴とその多様性）を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。